

保証書

持込修理

ラミネーター保証書

取扱説明書・本体表示などの注意書きに従った使用状態で補償期間内に故障した場合には、無償修理いたします。

製品と本書をご持参の上、お買い上げの販売店にお申し付けください。この製品は持込修理対象商品ですので、郵送などで修理依頼された場合の送料などはお客様負担となります。

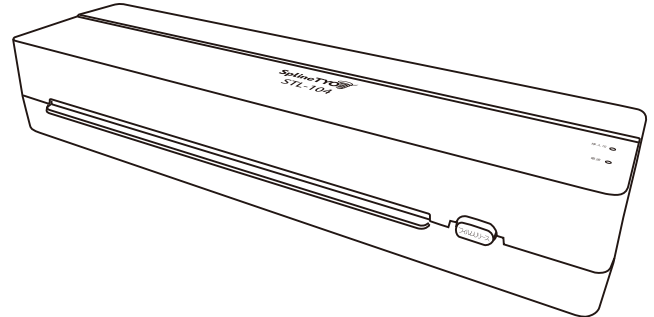
SplineTYO

取扱説明書

ラミネーター
STL-104

(家庭用)

保証書付き



このたびは、SplineTYO (スプライントーキョー) 製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意

必ずお守りください


人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守り頂く事を説明しています。


■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告 「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。








注意 「軽傷を負う事や財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。











 してはいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

警告

-  ●清掃のためなどに、ラミネーター挿入口に可燃性のスプレーなどを吹きかけないでください。発火して火災を起こす、または大やけどをする恐れがあります。
-  ●非常に高温になりますので、ご使用時は特にお子様に触れないようにしてください。お子様の手の届かない所に保管してください。
-  ●ラミネート挿入口や排出口には手や指をいれないでください。また、手でラミネートフィルムを押し込んだりしないでください。
-  ●濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない。(感電の原因)
-  ●電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。(火災、感電の恐れがあります。)
-  ●ご自分で絶対に分解や修理、改造をしないでください。(感電や思わぬけがをする恐れがあります。弊社は記載された条件以外での使用にて生じた故障または損害などに関しては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。)=修理は、販売店にご相談ください。
-  ●万一発熱したり、煙が出たり、変なニオイがするなど異常な事態になりましたら、使用を中止して電源プラグを抜いてください。(火災、感電の恐れがあります。)

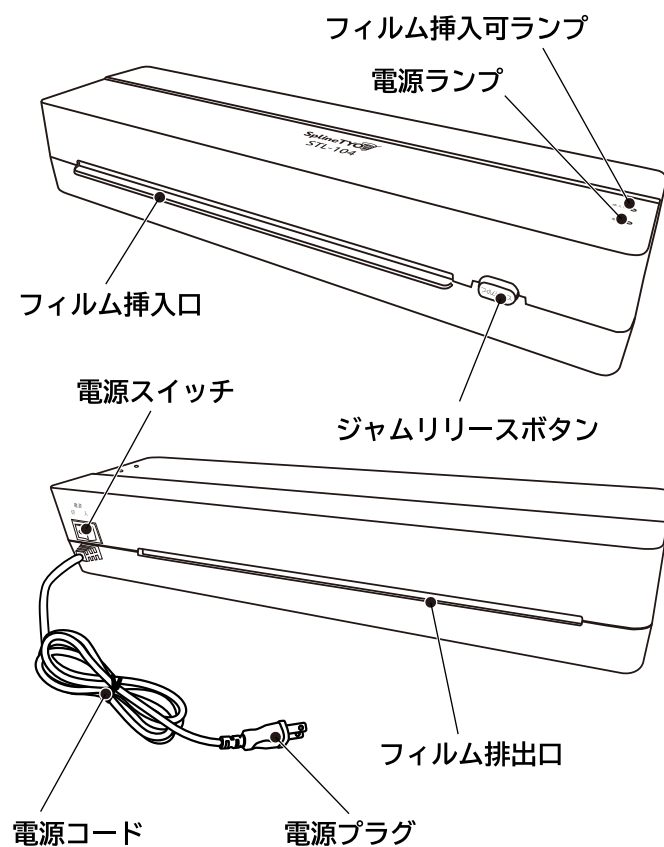
注意

-  ●本機は、紙・印刷物・写真専用のラミネーターです。ラミネーター以外の目的に使用しないでください。
・金属、ビニール製品、木片などをラミネートしないでください。
・コーティング処理された紙や油分を含むコート紙などはラミネートしないでください。
・熱による変色、変質する紙をラミネートしないでください。
-  ●ネクタイ、ネックレス、髪、衣類の袖などがラミネート挿入口に引き込まれないようにしてください
-  ●本機は必ず水平な所に設置し、ラミネート排出口からラミネートした物を取り出せるようにスペースを空けてください。
-  ●本機の上に物をのせたり、腰掛けたり、乗ったりしないでください。けがをする原因になる恐れがあります。
-  ●冷暖房機のそば、高温多湿な場所、ほこりの多い場所で使用しないでください。火災、感電の恐れがあります。
-  ●本機に水などをかけないでください。火災、感電の恐れがあります。
-  ●電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部を持って抜いてください。火災、感電の恐れがあります。
-  ●必ずコンセントの近くで本機を利用し、電源プラグが容易に着脱出来るようにコンセントの傍に物を置かないでください。
-  ●電源は必ず AC100V の電源をご使用ください。
-  ●タコ足配線はしないでください。火災、感電の恐れがあります。

使用上の注意

- 本体の背面（フィルム排出側）にフィルムが排出できる広さを確保してください。
- ラミネーターを平らな場所に設置して操作してください。
- ウォームアップ時間は季節、気温によって変化します。
- 内部のローラーの加熱によりゴムのニオイが発生しますが、使用上問題はありません。
- 製品や梱包材の廃棄に関してはお住まいの自治体の指示に従ってください。

各部の名前



ラミネートする原稿に関して

一度ラミネート加工した原稿は元に戻りません。

原稿の種類・厚さ・セット方法・周囲の温度・インクの種類などによっては、しわが寄る・加工物が反る・原稿がにじむ・変色する・表面に細かい気泡が入るなどの加工不良が発生する場合があります。

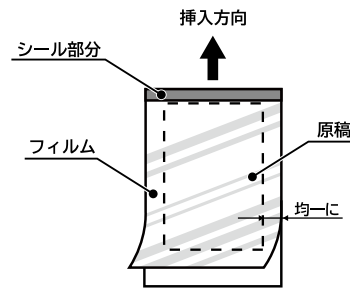
またフィルムを巻き込んだり、火災などの重大な事故の原因につながる恐れがありますので、次のような物は絶対にラミネートしないでください。

1. 発火性の物、熱に弱い物（ビニール、PP など）
2. フィルムを含めて厚さが 0.5mm 以上の物
3. 感熱紙、クレヨンで描いた絵など高温で変色、変質する物
4. 片面のみのラミネート
5. フィルムのみのラミネート
6. フィルムの継ぎたし、ラミネートする前にカットしたフィルムなどで行うラミネート
7. クレジットカードなどの磁気を帯びたもの
8. 折れ曲がっているもの、湾曲しているもの
9. 押し花（台紙を使用しないもの、また台紙を含めて 0.5mm 以上のもの）
10. 金属、木片、プラスチック、ゴムなど紙以外のもの。
11. コーティングされた紙やエンボス加工、油分を踏んだ紙など特殊なもの
12. インクジェットプリンターなどで印刷した直後のような湿った紙など、水分を含んだ紙
13. たった 1 枚しかないような大切なもの。

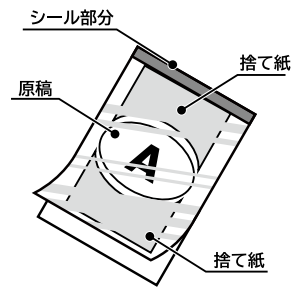
きれいに仕上げるためには

原稿のフィルムへのはさみかた

原稿をフィルムのシール部分にあたるまで差し込む

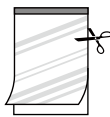


原稿不定形

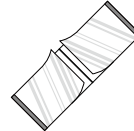


○次の方法は絶対にしないでください。

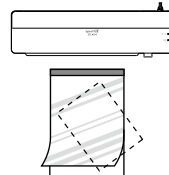
カット禁止



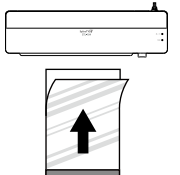
継ぎ足し禁止



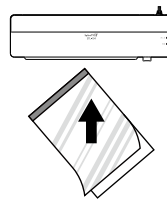
はみ出し禁止



逆入れ禁止

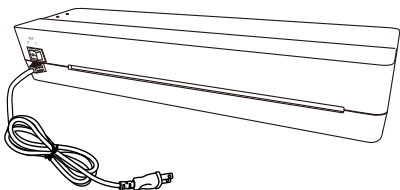


斜め入れ禁止



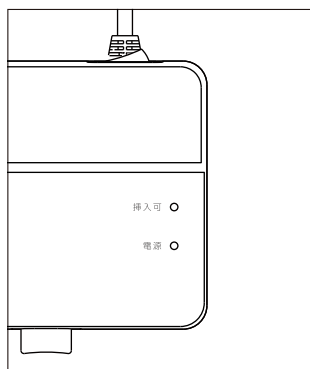
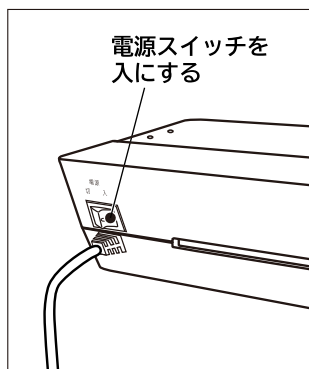
ラミネーターを使用する

1. 電源プラグをコンセントに差す。



2. 電源スイッチを入にする。

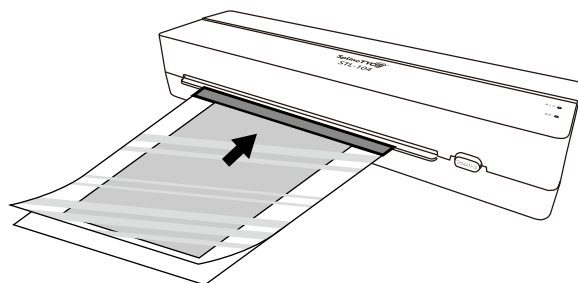
電源ランプが点いた後、3~5分後に挿入可ランプが点灯する。



ラミネーターを使用する

3. フィルムサイズ表示に合わせ、シール部を先頭にして、まっすぐに挿入する。

→その後は自動的に送り込まれます。



フィルムが詰まった時

フィルムが詰まった時

フィルムが詰まった時は、本体正面の右側のジャムリリースボタンを押しながらフィルムをフィルム挿入口から引き抜いてください。

詰まったフィルムを引き抜いた後には、必ず「ローラーのクリーニング」を行ってください。

フィルム先端部が溶けて製品内部に残った場合、製品の故障や異臭、発煙や発火の原因になります。

・糊の付着によるフィルムの巻き込みは有償修理の対象です。

お手入れ 必ず電源ケーブルを抜いて、ラミネーターが充分冷めてからお手入れをしてください。

お手入れをするときは

酸性・アルカリ性の強い洗剤、シンナー類、固いたわし、金属たわし、磨き粉、塩素系漂白剤などを使わない（傷や変色の原因）

本体

柔らかい布で拭く

汚れがとれにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で汚れを取り除き、かたくしぼった布で洗剤分を充分にふき取ってください。

ローラーのクリーニング

ローラーにラミネーターフィルムの糊が付着しているとフィルムを巻き込む事があります。

また古くなった糊は非常に取りにくくなりますので、ご使用の後には、必ずローラーのクリーニングを行ってください。

クリーニングにはカレンダーなどのコート紙などを二つ折りにし、折り曲げ部を先頭にしてまっすぐフィルム挿入口にいれます。これを数回行ってください。

故障かなと思ったとき

●お問い合わせや修理を依頼される前にご確認ください。

症状

原因と処置

電源スイッチを押しても動かない、

- 電源プラグがコンセントから抜けている
→コンセントにしっかり差し込む

挿入可ランプが点かない

- 電源スイッチが入っていますか？
→電源スイッチを入にします。

フィルムが入っていかない

- 本製品のラミネートする厚さを超えていませんか
→本製品がラミネート出来る厚さ(0.5ミリ以下)にする。
- 本製品の中にフィルムが詰まっていますか
→ジャムリリースボタンを押してフィルムを取り除いてからラミネートをしてください。

加工したフィルムが、白っぽくなったり波打ったりする

- 挿入可ランプが点いていますか？
→待機中です。挿入可ランプが点くまでお待ちください。

仕様

商品名	ラミネーター
品名	STL-104
ウォームアップタイム	3~5分
ラミネート可能厚さ	0.5mm
ラミネートフィルム挿入可能厚さ	100 μ
電源	100V 50・60Hz
消費電力	115W
コードの長さ	1.4M
外形寸法(約mm)	345(幅)×95.4(奥行)×65.6(高さ)・突起部含まず
重量(約kg)	0.75kg

アフターサービス

- 保証書の内容のご確認と保管のお願い
必ず「販売店印およびお買上げ日」をご確認のうえ、お買上げの販売店から受取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間はお買上げ後 1 年間です。
- 修理を依頼される時
「故障かなと思ったとき」をご確認のあと、直らない場合は使用を中止し、**コンセントから差込みプラグを抜いて、お買上げの販売店にご連絡ください。**
《保証期間内》
製品に保証書を添えて、お買上げの販売店にご持参ください。
保証書の記載内容に基づき修理いたします。
《保証期間を過ぎているとき》
修理すれば利用できる商品は、ご希望により有償修理をいたします。
- 補修用性能部品*の保有期間は、製造打ち切り後 5 年間
※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料、部品代、出張費などで構成されています。
【技術料】は診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などにかかる費用のことです。
【部品代】は、修理に使用した部品および補助材料代などです。
【出張費】は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用などです。
■お客様ご自身での修理・分解や改造は絶対にしないでください。

お客様相談窓口

修理・取扱い・消耗品や部品ご購入などのご相談は、まずお買上げのご販売店様にお問い合わせください。
ご転居やご贈答品などでお困りの場合は弊社（株式会社 EP）の「お客様相談窓口」にお問い合わせください。
所在地、電話番号等は変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

03-5812-4645

受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00 月曜日~金曜日
(土曜日、日曜日、弊社休業日は除く)

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(a) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に保証書を添えていただきお買上げの販売店にお申し付けください。
(b) お買上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お客様相談窓口にご相談ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買上げの販売店またはお客様相談窓口にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(a) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
(b) お買上げ後の輸送、落下などによる故障及び損傷
(c) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
(d) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
(e) 一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
(f) 本書のご添付が無い場合
(g) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店の記入の無い場合、あるいは字句を書き換えられた場合
(h) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。

修理メモ

※お客様からご提供いただく【お名前・ご住所・電話番号などの】個人情報、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために、弊社グループ会社、協力会社との間で共同利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店または「お客様相談窓口」にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「アフターサービス」をご覧ください。
※This warranty is valid only in Japan.